

目標の設定及び達成に向けた考え方について(区作成)

【大正区】(受託者等:一般財団法人大阪市コミュニティ協会)

		区の考え方等
1 地域課題・ニーズ等の状況について		区内の人口は年々減少しており、高齢化率も大阪市平均に比べて高い状況である。少子高齢化が進み人口流動が少なく、地域活動の担い手の減少と固定化の両面で課題を抱えている 海と川に囲まれ、地震発生時には津波の襲来も予測されることから、地域と行政が一体となって防災活動に取り組む体制を構築する必要がある 地域活動を支える中堅・若手の人材をはじめ、新たな地域活動の担い手を拡大する必要がある。 今後、団体が法人化をめざす場合には中間支援組織からのサポートが必要となる。
2 当事業によりめざす状態	各種地域団体や企業、NPO等、多様な主体が、地域社会の将来像を共有しながらそれぞれの特性を発揮し、主体的に校区等地域におけるさまざまな地域課題に取り組む。	【現在の状況】 ・達成状況:概ね4割程度達成 ・説明:運営状況について概ね4割の項が◎できているため
3 当事業の目標		
(1) 中長期の目標	校区等地域において、様々な活動主体が協働し、その話し合いのもと合意を形成し自ら地域課題の解決に取り組み、その情報発信に努めるなど、地域が自律的に運営されている状態 地域運営にさまざまな活動主体が参画し、地域課題を解決しながら、地域が一体となって運営されていると感じている割合 60%以上 中間支援組織による支援が、地域にとって適切であると感じている割合 60%以上	【現在の状況】 (2)に記載 【現在の状況】 (2)に記載 【現在の状況】 (2)に記載
(2) 平成30年度目標		
ア「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」	形成済の全地域活動協議会について、ステージ1の15項目を達成し、ステージ2の各項目のうち5項目を達成	【現在の状況】 ・達成:5地域 - 未達成:5地域
イ 利用者アンケート調査		
(イ) 中間支援組織の活用	地域活動協議会の構成団体が、自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合 82.9%以上 まちづくりセンター等の支援を受けた団体が、支援に満足している割合 80.3%以上	【現在の状況】 地域活動協議会の構成団体が、自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合 80.9%(①そう思う 23.5%+②ややそう思う 57.4%) 【現在の状況】 (全般的に)まちづくりセンター等の支援について満足していますか。(問1) 77.3%(①満足している16%+②ややそう思う 61.3%)

	区の考え方等
4 地域活動協議会の状況についての分析 上記2・3の【現在の状況】及び評価資料等を踏まえ分析	ステージ1の項目については、現在当区が委託事業として実施していることから、全ての項目を達成できていない状況にある。 平成31年度から補助金化を実施することにより、全項目達成に向けてまちづくりセンターの協力のもと地域活動協議会への支援に取り組んでいく。 ステージ2の各項目については目標の5項目を全地域が達成しており、引続き達成率の向上と新たな担い手の拡充に向けて取り組みを進めている。
5 当事業による支援の方針	平成31年度より補助金化を実施することに伴い、地域活動協議会による補助金の適正な執行に対する支援に向けて、中間支援組織の役割がますます重要になることから、引き続き区と中間支援組織が両輪となった積極的な支援を行っていく方針である。
6 目標達成に向けた戦略	平成31年度からの補助金化により、地域活動協議会が準行政的機能や総意形成機能をより発揮し、継続的に自律的な運営ができるよう、庁内組織である「地域包括支援プロジェクトチーム」と中間支援組織が連携した地域活動支援を行っていく。